

令和4年度評価結果の反映状況

評価結果	業務運営の改善への反映状況	備考 業務実績報告書 項目別実績番号
<p>1. 中期目標で示した、各病院における病床稼働率の目標値を達成するため、病床の適正管理に努められたい。</p>	<p>令和5年度は、各病院ともに依然 SARS-CoV-2（以下「新型コロナウイルス」という。）感染症の影響により、感染症拡大以前と比べると病床稼働率については低い水準が続いている。</p> <p>総合病院では令和5年5月8日以降、一般病床にて新型コロナウイルス感染症患者を受け入れているため、一般病床稼働率は86.4%となり、目標値（90%以上）を下回っているが、重症感染症患者を多く受入れ、地域医療の維持に大きく貢献した。</p> <p>こころの医療センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったこともあり、令和5年9月現在の病床稼働率は目標値（85.0%以上）を下回っているものの、83.5%となっている。</p> <p>こども病院では、令和5年5月の電子カルテの更新に伴い、安全確保を優先し、4月及び5月に入院患者の受入れ調整を行ったこともあり、令和5年9月末時点での病床稼働率は累計で73.0%であった。しかし、6月以降は目標値の75.0%を大きく上回る月もあり、年間で見ると病床稼働率の上昇が見込まれる。</p> <p>今後、各病院とも院内感染対策を取りつつ、効率的な病床運営による平均在院日数の適正管理に努めるほか、近隣医療機関と連携して紹介率、逆紹介率を向上させることなどにより、病床稼働率の向上を図っていく。</p>	<p>39、49 各病院</p>
<p>2. こころの医療センターにおいては、リハビリテーション（デイケア）の利用者増加に向けて継続的に取り組まれたい。</p>	<p>令和5年度は、デイケア活動を中止することなく継続できており、徐々にコロナ流行前の実施体制に移行している。また、院内の窓口や売店などで案内ポスターの掲示やパンフレットの配架を行う等の広報活動により、利用者の増加に努めている。</p>	<p>17 こころ</p>

<p>3. こども病院におけるラーニングセンターについては、令和6年度の運用開始に向けて、引き続き検討されたい。</p>	<p>従来のラーニングセンターは、令和2年度以降の病棟工事や新型コロナ対策物品の保管場所となるなど使用できない期間が続いたことから、会議室や空き病室を利用した研修を実施してきた。</p> <p>ラーニングセンター再開に向け、令和3年度から開始したワーキンググループにおいて、令和4年度には、L棟3階の大会議室にラーニングセンター機能を付加することを中心に検討していくこととした。</p> <p>検討結果を早期に取りまとめ、令和5年度中には当該工事を実施し、研修機能を集約することで、医療従事者の研修環境の充実に取り組んでいくこととする。</p>	<p>67 こども</p>
--	--	-------------------